

第3回 東京吹奏楽コンクール新人戦

第6回 首都圏学校交歓演奏会(関東大会相当) 予選

開催要項

《大会趣旨》

この大会は、スクールバンドにおいて3年生引退後の時期に、新たな目標をもって新年度の体制を準備するきっかけにして頂こうと埼玉で平成20年度に始まり、その後、群馬、新潟、石川など開催県が増え続け、東京でも平成27年度から開催しております。

冬の間は気温も低く日没も早いので、なかなか部活動に腰を添えて取り組むことが難しい時期であります。そのため活動が停滞気味になることも多く、このような時期こそ指導者や生徒がしっかりと目標をもって活動を行うことが大切です。そのため、競うことだけを目的とせず、他団体の演奏を聴くことで今後の練習のヒントが1つでも見つければと思っております。

他県での過去の結果をみても、この新人戦をきっかけに、夏の吹奏楽コンクールでは優秀な結果を残すことができた団体も数多くあり、参加された皆さんからも前向きな意見が数多く出ております。またこの新人戦は、運営も次世代を担う若い指導者が中心となり、日々の悩みを情報交換しながら、計画・運営にあたっております。生徒だけではなく、顧問の先生も含めた皆さんがこの大会を通して成長し、技術の向上につながることを願っております。

1. 大会日程 平成30年 1月27日(土) 中学校の部
 平成30年 1月28日(日) 高等学校の部
2. 大会会場 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
3. 入場料 無料(プログラムが運営費となりますので、プログラムの購入にご協力ください)
4. 主催 東京吹奏楽コンクール新人戦実行委員会
5. 協賛 ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、エクセルトラベル、ヤマハミュージック
 ジャパン、ユニヒロ、トップトラベル
6. 参加規定 都内の吹奏楽団体及び、実行委員会が参加を承認した他県の団体が参加できる。

(1) 中学校の部

- ・ 団体構成員は、同一中学校に在籍し、正規の授業または部活動等で吹奏楽を習得している生徒とする。
- ・ 参加人数の制限は設けない
- ・ 出演者に中学3年生を含めることはできない。
- ・ 課題曲・自由曲は同一指揮者、同一メンバーで演奏する。ただし、楽器の持ち替えは自由である。
- ・ 演奏時間は課題曲から自由曲まで通して12分以内とする。
- ・ 指揮者の資格等に関して制限は設けない。
- ・ エレキベースの使用は認める。

(2) 高等学校の部

- ・ 団体構成員は、同一高等学校に在籍し、正規の授業または部活動で吹奏楽を習得している生徒とする。
- ・ 出演者に高校3年生を含めることはできない。ただし、中高一貫校の場合は、中学生を含む(中学3年生もこの場合は可とする)ことができる。
- ・ 他は、前記(1)「中学校の部」に準ずる。

7. 課題曲

- ・過去の全日本吹奏楽連盟主催における吹奏楽コンクールの課題曲を演奏する。
ただし、当該年度の課題曲は演奏できない。また、改訂版や原典版は不可とする。
- ・部門指定の課題曲であっても、他部門での演奏を許可する。（高校生以上の課題曲であっても、中学校の部で演奏することを妨げない）
- ・東京都吹奏楽連盟に課題曲に関する問い合わせはしないこと。

8. 審査及び表彰

- (1) 審査は5名で行う。
- (2) 審査は課題曲・自由曲をそれぞれ「技術」「サウンド」「表現」の観点で10段階で評価し、順位点に換算する。
- (3) 5名の審査員のうち、最も低い順位をつけた審査員の順位点をのぞく、4名の順位点の合計で総合的な順位を決める。（下カット）
- (4) 全部門とも、金賞、銀賞、銅賞の3グループ表彰とし、賞状を授与する。
- (5) 各日・各部門の最優秀団体にはトロフィーを授与する。
- (6) 表彰式には各団体1名が登壇すること。
- (7) タイムオーバー及び規程違反については失格とする。
- (8) 上位大会へは希望団体の中から、順位順に選出する。

9. 上位大会について（第6回 首都圏学校交歓演奏会）

- (1) 日時
中学校の部：平成30年3月28日(水)
高等学校の部：平成30年3月31日(土)
- (2) 会場
中学校の部：さいたま市文化センター
高等学校の部：羽生市産業文化ホール
- (3) シード 前年度における首都圏学校交歓演奏会において、グランプリを受賞した団体はシードとし、上位大会へ推薦する。ただし、予選において審査を行う。

10. 審査員

依頼中（審査員5名を予定）

11. 参加申し込み

出場の申し込みは2段階制とする。

第1次申し込み

(1) 第1次申し込み方法

- ・申し込みは先着順とし、定数に達した場合は締め切り前であっても受付を終了する。その場合は、ホームページで知らせる。
- ・以下のホームページにアクセスし、申し込みフォームに必要事項を記入し、送信をすること。

ホームページアドレス <http://tokyo-wind.sakura.ne.jp/>

(2) 第1次申し込み期間

10月1日（日）午前10時～10月8日（日）午後6時まで
※ただし、締め切り前であっても定数に達した場合は受け付けを終了する
※10月1日（日）の午前10時以前に送っても受付しない

(3) 募集团体数

中学校 25 団体程度 高等学校 25 団体程度

(4) 出場団体の発表

10月11日(水)にホームページ上で発表する。

ただし、締め切り前に定数に達した場合は、早めに発表する場合もある。

(5) 東京都外の吹奏楽団体申込について

- ・東京都外の団体が申し込む場合は、通常の申込を行い、その後事務局からの連絡を待つこと。
- ただし、東京都内の団体で定数に達した場合は出場できない。

第2次申し込み

(1) 第2次申し込み方法

- ・第2次申し込みは、第1次申し込みにより出場が確定した団体のみが行うこと。
- ・第2次申し込みでは、曲目、指揮者、人数、出演者氏名(プログラム掲載用：事情がある場合はお申し出ください)等を報告する。
- ・申し込み方法は電子データによる。電子データはホームページよりエクセルファイルをダウンロードし、下記アドレスにメールで送信をする。
- ・郵送等では受け付けないので、注意すること。

shinjin@tokyo-wind.sakura.ne.jp 事務局 石井宛

※電子データは受信後、事務局より2日以内に返信する。

万が一返信されない場合は、要項に記載された問い合わせ先へ問い合わせること。

(2) 第2次申し込み期間

10月15日(日)～10月22日(日)

※ただし、締め切りを過ぎて提出がない場合は、出場辞退とみなす。

(3) 申込内容の変更について

- ・申込内容に変更が生じた場合は、ただちに事務局へFAXで連絡すること。
- ・ただし、課題曲、自由曲については1度提出した内容を変更することはできない。
- ・参加人数が増加した場合は、増加した人数分の参加費を当日支払うこと。

(4) ピアノの使用について

- ・ピアノは上手固定とし、参加団体が責任を持って開閉を行うこと。
- ・ピアノの使用料は、参加団体が負担する。その場合、参加団体数で使用料を割る。

12. 第2次申し込みにおける申込書入力上の注意

電子データでの申し込みとなるため、以下の内容に十分気をつけること。また、入力が終了したら必ず保存し、一度ファイルを開き直し、正しく入力・選択がされているか確認をしてから送信すること。

I 出場申込書

(1) 学校名(賞状に記載する学校名)

- ・区、市立学校の場合はすべて正確に入力する。
- ・都立学校の場合は、「都立～」と入力する。
- ・私立学校は正式名称を記入
- ・学校名のあとに「吹奏楽部」等はつけない。

(2) 指揮者名や連絡先氏名等

- ・機種依存文字(「崎」等)は使用しない。
- ・パソコンにない文字や機種依存文字は、常用漢字に直す。

- (3) 曲名
- ・邦人作品以外は原題を必ず記入すること。ただし、楽章の原題は不要。
 - ・交響曲や組曲等の楽章で分かれている曲を演奏する場合は、必ず演奏楽章も入力すること。その場合、アラビア数字（１、３）とすること。
- (4) 出演者人数
- ・出演者人数に指揮者は含まない。
- (5) 出版社
- ・楽譜が未出版の場合は、「未出版」と入力する。
- (6) 編曲手続き
- ・著作権の存在する楽曲を編曲して自由曲とする場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けなければならない。演奏曲目の著作権の詳細については、出版社あるいは作曲者・編曲者等に確認をとり、許諾書を打ち合わせ会に持参すること。
- (7) 交通手段
- ・原則的には公共の交通手段を利用し会場にくること。
 - ・バスを利用する場合は、周囲の交通に十分注意をしたうえで乗り降りすること。
- (8) 楽器運搬
- ・打楽器は基本的に共用楽器を使用するため、搬入口の使用は共用楽器提供団体のみが使用できる。管楽器等の積み下ろしにトラック等を使用する場合は、会場近くで行うこと。
 - ・搬入する打楽器がある場合は、舞台袖から舞台裏へ運ぶこと。

II 参加費

- (1) 審査料・参加費は自動で入力される。
- (2) 出納責任者名を入力すること。

13. 審査料および参加費

審査料	1 団体につき	10,000 円
参加費	1 名につき	500 円×出場人数分（指揮者を除く）【プログラム代込み】

14. 振り込み

- (1) 必ず団体名で振り込みを行うこと
- (2) 一度振り込んだ参加費は原則として返金はない
- (3) 振り込み後に人数が増加した場合は、その分を当日支払うこと
- (4) 参加費の領収証は、当日団体名で発行する

振り込み先

- (1) ゆうちょ銀行から振り込む場合

記号：10070

番号：18696191

口座名：東京吹奏楽コンクール新人戦実行委員会

- (2) ゆうちょ銀行以外から振り込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇〇八（読みゼロゼロハチ）

店番：008 預金種目：普通預金

口座番号：1869619

口座名：東京吹奏楽コンクール新人戦実行委員会

振込期間：10月15日（日）～10月29日（日）

※振り込みが完了した時点で申し込みの完了とする

15. プログラム

プログラムの売り上げが運営費となるので、来場者に購入の呼びかけをお願いします。
プログラム代 300円

16. 参加校説明会

下記の日程で参加校説明会を実施する。各団体の顧問1名は必ず出席すること。

11月24日（金） 18:30 開会	豊南高等学校
--------------------	--------

- (1) やむを得ず当日出席できない場合には代理を出すこと。無断で参加校説明会に出席しない団体は棄権とみなす。
- (2) 参加校説明会では、該当する団体は以下のものを持参すること。
 - ・未出版の曲を使用する場合は、演奏許諾書または編曲許諾書のコピー
 - ・レンタル楽譜を使用する場合は、レンタルしたことを証明できる書類のコピー
- (3) 参加校説明会への生徒の参加は禁止とする。
- (4) 参加校説明会の案内は郵送しないので、注意すること。
- (5) 校印のある出場申込書を持参すること。

17. 貸与楽器

Timpani 32, 29, 26, 23	Vibraphone
Bass Drum	Marimba(5オクターブ)
Chime	Gong
Glockenspiel	Piano
Xylophone	Drums

当日の打楽器はスムーズな進行を行うため、共通打楽器を使用すること。

- (1) 上記の打楽器以外は持ち込み可とする。
- (2) ゴング、チャイムを含め、ビーターやマレット類は各団体で持参すること。
- (3) マレットスタンドは各自で持参すること。
- (4) ひな壇は2段とし、ティンパニは下手下段固定とする。
- (5) ひな壇での打楽器の演奏はティンパニのみを原則とする。
- (6) 進行上、特殊楽器は極力避け、シンプルな配置を心がけること。
- (7) これ以外に希望がある場合は、事前に問い合わせること。
- (8) 当日に共通楽器の試奏は認めない。

18. 大会当日の集合について

本大会は、競うことだけを目的とせず、お互いの練習の成果を聞きあい、今後の練習の糧となるよう企画されたものである。そのため、当日は全団体が開会式より参加し、他団体の演奏をより多く聴くよう協力をお願いします。

19. 個人情報の取り扱いについて

参加申込書に記載された個人情報については、大会運営に係るものについてのみ使用する。

20. 傷害保険の加入について

今大会では、傷害保険等をかけていない。そのため、必要がある団体は各団体で加入すること。

21. 問い合わせ

この大会に関する問い合わせは以下へ電子メールまたはFAXで行うこと。

なお、吹奏楽連盟の事業ではないので、連盟への問い合わせは絶対に行わないこと。

メールアドレス shinjin@tokyo-wind.sakura.ne.jp 事務局 石井宛
FAX番号 03-3983-2704 (豊昭学園 石井宛)

22. 実行委員会

実行委員長	国分 牧弥	(豊南高等学校)
副実行委員長	藤川 洋	(瑞穂町立瑞穂中学校)
	山田 裕介	(岩倉高等学校)
事務局長	石井 雅子	(豊昭学園)
事務局	小池 弘明	(調布市立第三中学校)
	砂山 瑞穂	(藤村女子高等学校)
	辰見 憲	(中央大学杉並高等学校)
	永井 直喜	(江戸川区立東葛西中学校)
実行委員	安達 房子	(荒川区立尾久八幡中学校)
	斉藤 慎之介	(都立足立東高等学校)
	佐藤 千佳	(練馬区立田柄中学校)
	関口 裕大	(江戸川区立小岩第三中学校)
	戸張 ふき子	(江戸川区立東葛西中学校)
	山田 邦大	(東海大学菅生高等学校)
	遊佐 誠一	(東大和市立第三中学校)